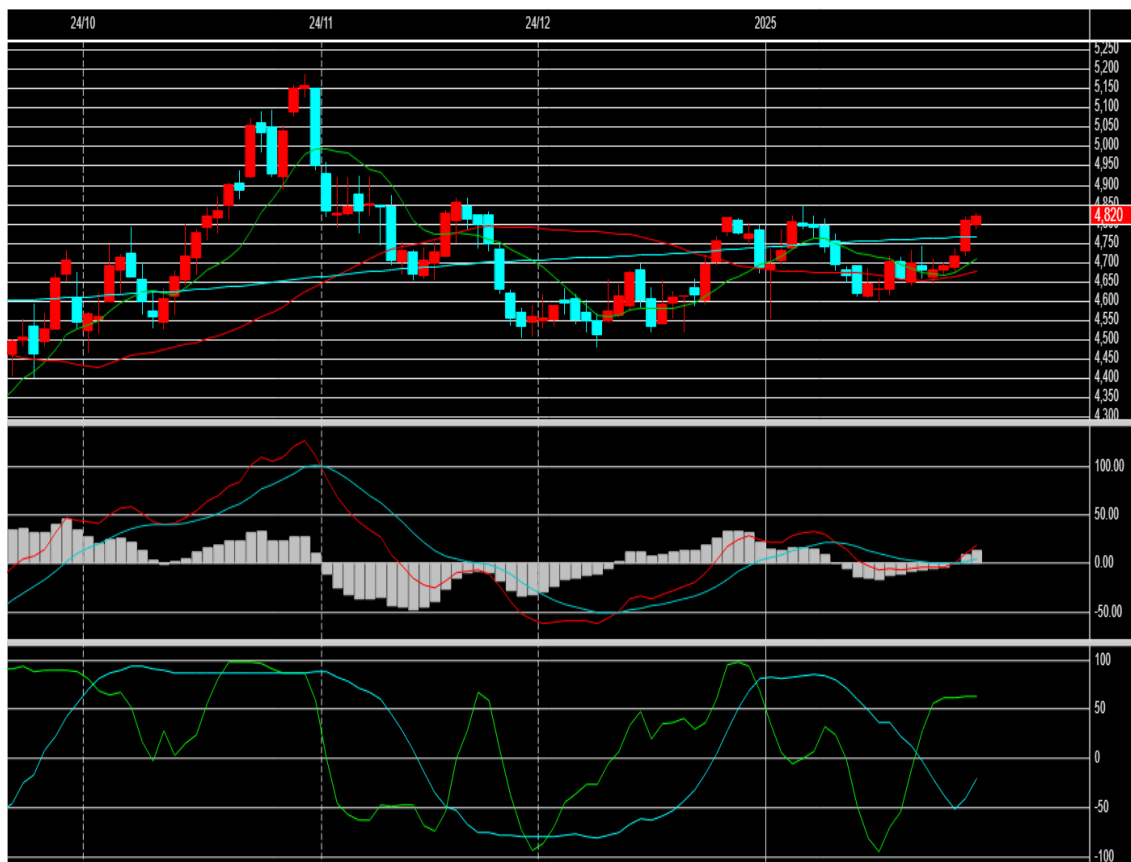


<白金標準、ペナントレンジからの離脱で 4923 円狙い・・・>



(出所：オアシス)

NY マーカントイル取引所のプラチナ指定倉庫における在庫量は、昨年米国大統領選でトランプ氏が勝利し、トリプルレッドが示した 12 月 15 日の 137196 トロイオンス (4.2 トン) が、先週 1 月 30 日には 416022 トロイオンス (12.9 トン) まで在庫が増加している。この現象は金や銀でも同様な事が起きており、トランプ大統領の米国への輸入品に一律 (ユニバーサルベースライン) 10%の関税を課す公約に備える動きを見せている。またトランプ大統領はロシアに対してウクライナとの和平交渉でも制裁を課す発言を行っている。特に PGM でパラジウムは、ロシアが世界の 7 割を供給しており、950 ドル近くまで下落した価格が週末には 1071 ドルまで上昇している。そのため NY 白金は 1000 ドルを回復し昨年 10 月の高値 1064.6 ドルに向けた動きを見せている。また南アフリカでは、国営電力会社エスコムの電気料金が 12.7%の値上げが承認されたが、週末には 6 基の発電タービンが停止した事から 10 ヶ月ぶりにステージ 3 の負荷制限を発動している。そのため関税に電力不足など重なり、白金標準先物も 4923 円に向けた回帰相場が続くと思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル**も切り上げている。RCI では**短期**が維持しながら、**長期**は上昇している。そのためオシレーターは強気を示唆しており、目先の 4847 円を試す値動きに思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,100,000 円(2025 年 2 月 3 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2025 年 2 月 3 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>